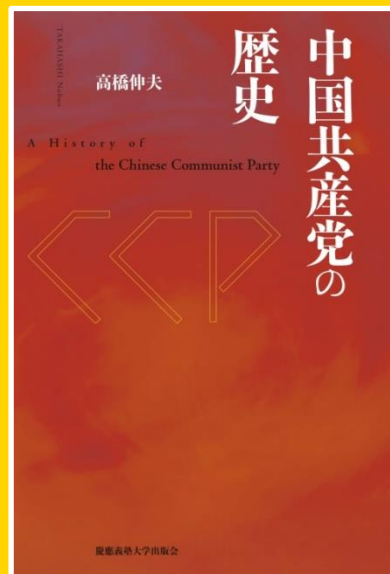


KD0578 2023年10月

慶應義塾大学出版会 2023年度末 キャンペーン



東アジア関連書

セールスID **KS00001198**

充実のラインナップを誇る慶應義塾大学出版会の東アジア関連書。日本との関係性も含め、激動する東アジア地域についてより学びを深めるための本を、歴史・文化・社会の観点からセレクトしました。

東アジアの歴史と展望に関心を持つ読者に向けて、三・一独立運動から韓国の留学生たちが歩んだ激動の歴史、朝鮮の出版文化、宋代民事法、中国共産党の歴史、そしてインド外交に至るまで、多様なトピックを提供します。東アジアの過去と現在の関連性を紐解きながら、この地域の複雑なダイナミクスを探求するための8冊です。

東アジアの地域研究に関心のある大学院生、研究者におすすめです。

年度末限定!

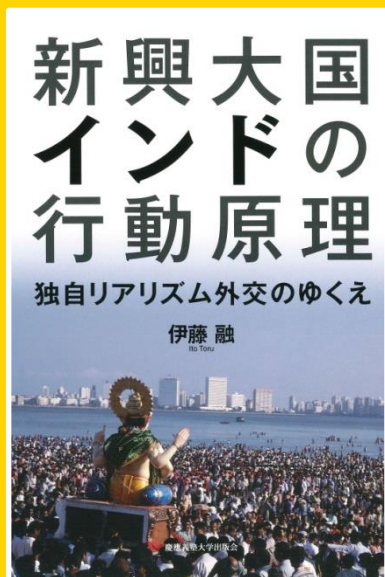
(2023年11月1日～2024年3月31日)

① セット購入の場合

- ・ **10% OFF** の特価にて提供します。
※¥108,240→¥97,416 (同時アクセス3、本体価)
- ・ご購入済のタイトルがセットに含まれる場合、アクセス数に+3

② 単品購入の場合

裏面タイトルリストのタイトルを単品ご購入の場合、
同時アクセス1の価格で同時アクセス数3のライセンスを
恒久的に提供します。



NO	書影	著者	Product ID	出版社名	底本刊行 年月	フォーマット	同時アクセス1 本体価	同時アクセス2 本体価	同時アクセス3 本体価
		書名	ISBN	内容紹介					
1		小野容照	KP00070343	慶應義塾大学出版会	202112	PDF	-	-	¥8,360
		韓国「建国」の起源を探る 三・一独立運動とナショナリズムの変遷	9784766427851	「民主主義国家・韓国」は、三・一独立運動からはじまったのか？日本・中国・米欧・ロシアを含めたグローバルな視点から独立運動の歴史的過程を丹念に描き、文在寅政権の掲げる「建国」神話を問い直す。					
2		鄭鍾賢【著】/渡辺直紀【訳】	KP00056370	慶應義塾大学出版会	202104	PDF	-	-	¥10,560
		帝国大学の朝鮮人 大韓民国エリートの起源	9784766427356	1945年の解放以降、大韓民国の樹立にさまざまな人々が参加した。そのうち左右を問わず、近代日本のエリート育成装置であった帝国大学に留学した朝鮮人は欠かせない存在であった。彼らの多くは帝国日本の官僚として服務し、帝国の先端知識や官僚の経験を元手に、1945年の解放後も韓国と北朝鮮の行政、経済、司法、知識体系に大きな影響を及ぼした。もちろん帝国大学に留学した全員が出世をねらう官僚になったわけではなかった。急進マルクス主義の洗礼を受けて変革運動に飛び込んだ人物もいたし、世俗的な成功と時代の制約の間で葛藤し、学問の道に進んだ人物もいた。彼らは解放後の大韓民国の社会に有形無形の影響を及ぼし、いまなお亡霊のように浮遊している。本書は、植民地時代に日本に留学した朝鮮人たちが、なぜ留学し、何を学び、戻って何をしたのか、著者の長年の調査と入念な資料・文献の渉猟によって明らかにする。					
3		田中美佳	KP00076824	慶應義塾大学出版会	202211	PDF	-	-	¥15,400
		朝鮮出版文化の誕生 新文館・崔南善と近代日本	9784766428513	本書は、近代朝鮮の出版文化の形成過程を、同時代の日本の出版界との関係を通して実証的に解明する。1919年3月に植民地期朝鮮最大の民衆運動である三・一独立運動が起こると、朝鮮総督府は武断政治から文化政治へと統治政策を切り替えた。それによって1920年代には『開闢』をはじめとする雑誌が続々と刊行され、今日まで継続している『東亜日報』や『朝鮮日報』といった朝鮮人経営の民間新聞も創刊された。1920年代に開花する出版文化の基礎を築いたのが、三・一独立運動の独立宣言書の起草で知られる崔南善が興した出版社・新文館である。新文館は、1908年に漢城（現・ソウル）に設立された朝鮮初の本格的な出版社であり、朝鮮「初の近代雑誌」と称される『少年』や、植民地化されて間もない1910年代の朝鮮で人気を博した「総合教養」雑誌『青春』など、近代朝鮮の出版文化史に名を残す数々の出版物を刊行した。崔南善の出版活動と新文館の実態を、日本の出版界の影響と照らし合わせながら明らかにする。					
4		青木敦	KP00001823	慶應義塾大学出版会	201408	PDF	-	-	¥24,640
		宋代民事法の世界	9784766421606	中国・宋代（960-1279）における司法の性格はどのようなものだったのか。人々の慣習や気風などの民事訴訟に影響を及ぼす要素を、江西地域の実態に則して手堅い実証で解き明かし、経済社会と訴訟とのかかわりを様々な角度から検討。研究史を網羅してそれらを批判的に検討。宗族、文学研究などの内外における研究動向を踏まえつつ、ユーラシアのスケールから唐宋変革論への新たな視座を提供する。					
5		山本信人【編著】	KP00035381	慶應義塾大学出版会	202003	PDF	-	-	¥16,720
		アジア的空間の近代 知とパワーのグローバル・ヒストリー	9784766426632	19世紀半ば以降、ヨーロッパとアジアで主権国家の再編と資本主義化が同時並行的に発生し、近代的アジア空間が形成された。その裏で展開された「英蘭—東南アジア—中国—日本」という知とパワーのダイナミックな流れを読み解く注目の書。					
6		高橋伸夫	KP00060256	慶應義塾大学出版会	202107	EPUBJフロー	-	-	¥8,360
		中国共産党の歴史	9784766427547	日中戦争、大躍進、文化大革命、天安門事件など、幾多の困難にもかかわらず成長し続け、国際的影響力を強める中国とその政権を握る中国共産党。 壮大な理想とリアリズムの間で揺れ動いた毛沢東、鄧小平、習近平らの思想と行動、そして彼らが引き起こした歴史的事件を通じてその実像を解き明かす。					
7		山口信治	KP00068728	慶應義塾大学出版会	202110	PDF	-	-	¥16,720
		毛沢東の強国化戦略 1949-1976	9784766427769	毛沢東時代の中国は、重工業・国防工業建設を中心とした急進的な国家戦略をとったが、そこには「対外的な脅威の変化」と「国内政治」の二つの要因があった。現在の中国の政策にも受け継がれる国家戦略とその弱点は何だったのか。習近平の強国化戦略についても大きな示唆を与える注目作。					
8		伊藤融	KP00044777	慶應義塾大学出版会	202009	PDF	-	-	¥7,480
		新興大国インドの行動原理 独自リアリズム外交のゆくえ	9784766426953	——戦略的自律というDNA——日本にとって「重要だが理解できない国」インド。中国が存在感を増すなかで、アジアの一大パワーを狙う、インド外交の見えざる行動様式をあぶりだす。					

慶應義塾大学出版会 2023年度末キャンペーンは

KS00001195 ジェンダー・フェミニズム 8点 65,142円

KS00001196 特別支援教育 12点 68,211円

KS00001197 学習実用書 19点 87,476円

全6セット ございます。（価格は本体価格です）

KS00001198 東アジア関連書 8点 97,416円

KS00001199 国際政治とインテリジェンス 9点 75,200円

KS00001200 メディア論 9点 65,934円

全セットのタイトル一覧はこちら⇒https://kinoden.kinokuniya.co.jp/product/img/KD0575_list.xlsx